

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	通信会社（営業 担当）	お客様の様子	・携帯電話の単価が全体的に上昇傾向にあるが、高額 商品でも売上が伸びている。
		一般小売店〔書 籍〕（店長）	販売量の動き	・雑誌、文具、AVなど主要部門のすべてにおいて販 売量が前年を上回っている。
	やや良く なっている	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・春物の動きが非常に活発で、春物衣料品の売上は前 年の4割増となっている。なかでもエレガンスタイ ルのきれいな色目の婦人服、靴、バッグなどが好調で ある。
		百貨店（営業担 当）	単価の動き	・来客数、販売量に大きな変化はみられないが、特に 春物の新生活用品についてはデザインや機能にこだわ りを持つ客が多いため、単価が前年に比べて上がって いる。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・マザーニーズ、春のセレモニースタイル、フォー マルウェアなど春物の動きが好調で、婦人服の売上は前 年比2けたの伸びがあり、3月の需要が前倒しになっ た感がある。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・スプリングコートやアウターニットなどカジュアル アイテムの春物婦人服が好調である。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・天候の影響からか、1日当たりの来客数は前年に比 べて約10名減少しているが、客単価の上昇により売上 は同102%となっている。主力商品のおにぎりや弁当 など中食が非常に好調だったことが寄与した。
		家電量販店（経 営者）	販売量の動き	・薄型テレビ、乾燥機能付き洗濯機などは引き続きよ く売れている。今月は久しぶりにパソコンの動きも良 くなり、単価の下落はあるものの販売台数の伸びが堅 調で、売上増に結び付いた。
		乗用車販売店 （総務担当）	販売量の動き	・1月はショールームへの来場者数がやや少なかった が、今月に入って店頭イベントなどへの来客数が増 え、新車の受注台数は前年を上回った。
		その他専門店 〔医薬品〕（営 業担当）	来客数の動き	・既存店の来客数は前年比105.5%と顕著に増加して おり、取扱品目の中では化粧品品の伸びが目立つ。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・宿泊、レストラン、宴会のいずれの部門も利用客が 増加し、前年を上回っている。3か月前との比較で も、宿泊部門は若干下回るものの、他の部門が伸びて おり、全体的に好調である。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・例年2月は携帯電話の販売数が増加する時期である が、今年は全機種の中で高価格帯の機種比率が例年 より高くなっている。
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・来客数が依然として前年をクリアできない状況が続 いているが、減少幅が縮小している。
	変わらない		百貨店（売場主 任）	それ以外
スーパー（総務 担当）			販売量の動き	・2月中旬から気温が上がり、一部婦人服の動きが活 発になったが、日用品には目立った動きがない。
スーパー（営業 担当）			販売量の動き	・天候に恵まれたため、来客数は増加したが、客単価 は一品単価の低下、買上点数の減少により落ちてい る。灯油など暖房費高騰の影響により食品の購入が 鈍っている。
スーパー（副店 長）			単価の動き	・豪雪により、1月は冬物商材の販売量が増えたが、 その反動のためか、2月に入ってから冬物は落ち着い た状況で推移している。
衣料品専門店 （経営者）			来客数の動き	・2月の店内は春物の品ぞろえが中心になっており、 土・日曜日の天候の良し悪しで来客数が左右される。
家電量販店（店 員）			販売量の動き	・冷蔵庫やパソコンは若干落ち込んだが、冬季オリ ンピックの効果でAV商品の販売量が若干増加した。
乗用車販売店 （経理担当）			来客数の動き	・各社とも県の展示館を利用した大イベントを実施し ているため、市場としては前年を上回って推移してい る。当社でも新型ミニバンとイベントの効果で来客数 も多く、業績も期待値には達していないが、前年を若 干上回っている。

	その他専門店 [ガソリンスタンド] (経営者)	単価の動き	・石油業界はまだ淘汰の時期にあり、競争は今後も長く続く。また、需要の頭打ちがこれに一層拍車をかけている。	
	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・大雪となった12月初旬から集客ペースが落ちていたが、2月中旬からようやく例年並みの集客や予約がみられるようになった。	
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・昨年2月は来客数が雪の影響で落ち込んだため、前年比ではやや良くなっているが、実質的には横ばい傾向である。	
	観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・雪の影響か、1、2月とも来客数が前年比で約10%減少している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・月初めには雪の日や寒い日があり、またイベントの開催により観光客が多く訪れたため利用客が増加した。しかし、後半は天候が良かったことから以前のように暇になり、流しの営業が厳しかった。	
	通信会社 (役員)	販売量の動き	・例年2月のケーブルテレビの新規契約数は1月の大幅な減少の反動から回復傾向を示すが、今年は例年どおりの回復がみられない。	
	競輪場 (職員)	単価の動き	・雪の影響が少なくなり、競輪場の入場者数は増加傾向にあるが、1人当たり売上単価は依然として伸びない。	
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・住宅展示場への来場者数は前年に比べて若干増えているが、客の決断が遅く、決定に至るまで相当な時間がかかる。	
	住宅販売会社 (総務担当)	販売量の動き	・新幹線がらみで一極集中的に分譲マンションの建設が進んでおり、戸建住宅の見込客が分譲マンションに流れていく懸念がある。戸建住宅についても低価格路線が相変わらず主流となっている。	
やや悪くなっている	商店街 (代表者)	来客数の動き	・商店街の再開発工事が着工したため、30店舗分のスペースが奪われ、通行量が1割程度減少した。	
	スーパー (店長)	単価の動き	・ポイントカード制を中止したため、多くの客から「買物の楽しみが無くなった」という声が聞かれ、客単価の低下により非常に厳しい状況にある。	
	スーパー (店長)	来客数の動き	・周辺で競合店が昨年10月以来3店も進出したため、来客数は伸び悩んでいる。	
	住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・就職、進学関連の需要が特に悪く、全体の販売量が減少している。	
	スナック (経営者)	来客数の動き	・冬季オリンピックの開催、駅前周辺での居酒屋の参入、天候などの影響を受けて、客の来ない日も1、2日あった。このため団体客の来店が数回あったにもかかわらず、売上は前年の9割にとどまった。また、周辺の同業者からも極めて厳しい状況を耳にしている。	
悪くなっている	商店街 (代表者)	来客数の動き	・1月から売上の落ち込みが依然続いている。年明け後の冬物セールも不振で、春物の投入が例年より早いものの、天候不順もあって売上増加にいまひとつ拍車がかからない。	
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・12月、1月の大雪の影響もあり、2月の来場者数は団体客を中心に前年比10%を超える大幅な減少となった。	
企業動向関連	良くなっている	一般機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・大手ユーザーのみならず、中小・零細企業の設備投資への意欲も積極的になっている。特に自動車に直接的、間接的に絡む企業が主体である。
	やや良くなっている	食料品製造業 (企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・客が価値を認める良い商品は、価格が若干高くても購入してもらえる割合が高まっている。
		繊維工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先が在庫を持たないため、計画性のない期近の発注が多い。
		司法書士	取引先の様子	・分譲マンションを建設するという新しい動きが出てきた。
	変わらない	金属製品製造業 (経理担当)	受注価格や販売価格の動き	・現在、鉄の価格は低下気味のため、受注価格は低下している。また、同業者の値引きもあり、厳しい状態が続いている。
電気機械器具製造業 (経理担当)		受注量や販売量の動き	・取引先の決算在庫調整の影響により、受注が少ない。	

	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、眼鏡産地では新商品の量産で繁忙な状況が続く時期であるが、今年は各社の生産増加の話が少ない。
	輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・原油価格の更なる高騰で3月からは軽油の値上げ要請も来ており、経費が増える割には運賃等の値上げが進まない。売上なども前年並みで推移している。
	金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・製造業のなかで、原油価格の高騰により値上げされた仕入価格を販売価格に転嫁できない企業が見られる。
やや悪くなっている	建設業（経営者）	競争相手の様子	・同業者ではダンピング受注が多くなっているが、これは資金繰りが苦しくなっている状況を反映している。
	輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・物量は12月、1月に比べ目に見えて落ち込んでいる。
悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年明けから登録者数が減少傾向にあり、新規需要に応じ切れない。特に技術者では顕著である。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の売上は前年比で約5%減少しているが、3か月前と比較して減少幅が縮小している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は平成14年9月以降41か月連続で前年を上回っており、また正規雇用への回帰傾向も見受けられる。
変わらない	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・在職求職者が前年に比べて53.5%増加している。賃金、勤務時間などの労働条件が不況時のまま継続しているためと思われる。2007年問題があるため、65歳までの継続雇用など労働条件の改善が図られつつあるが、しばらくはこの状態が続く。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・初めての求人や久しぶりの求人を出す事業所が多くなっている。半面、新規求人に占めるパート、派遣、請負などの非正規型求人の割合は相変わらず高い。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の売上は前年を大きく下回り、60%を切っている。
悪くなっている	-	-	-